

平成 23 年度第 2 回伊賀市地域公共交通会議議事概要

- 1 会議名称 平成 23 年度第 2 回伊賀市地域公共交通会議
- 2 日時 平成 23 年 1 2 月 2 8 日（水）午後 10 時 15 分～12 時
- 3 場所 伊賀市役所第 11 会議室（北庁舎 1 階）

4 出席者（敬称略）

伊豆原（名古屋産業大学大学院教授）、角田（伊賀市副市長）、小林（中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）、笠谷（三重県政策部交通政策室長）、木村（神戸地区住民自治協議会会長）、東（三重県伊賀建設事務所副所長）、

関係者：中島（美旗地域コミュニティバス運営審議会副会長）、島田（美旗地域コミュニティバス運営審議会会計）、嶋澤（きじが台地区住民自治協議会会長）、本田（名張警察署交通課）、岡（三重交通伊賀営業所）、森澤（三重交通労働組合伊賀支部）

事務局（伊賀市）：西岡企画総務部長、西堀企画財政調整監、藤山企画課長、森企画課主幹兼地域政策係長、植田企画課主任、宮田企画課主任

1. 開会

西岡部長	この会議は、道路運送法および道路運送法施行規則の各規定に基づき、地域の実情に則したバス等の旅客輸送サービスの実現に必要な事項をご協議いただくために市長の附属機関として設置しているものです。これまでも市が運営している行政バスや廃止代替バスの運行等についてご審議を頂いてまいりました。去る 9 月 6 日に開催いたしました第 1 回の会議におきましては、市の行政バスの運行に関わる自家用有償運送の更新登録についてもご審議いただいたところです。本日は名張市の美旗地区で計画しておりますコミュニティバスの本市きじが台地区への乗り入れについてご審議いただきたいと存じます。きじが台地区は名張市に隣接しておりまして生活圏も名張市といった事情もございます。皆様方からご意見を賜りたいと存じますのでよろしくお願いいたします。
藤山課長	報告事項ですが、本会議の委員の交代がございました。三重交通労働組合伊賀支部書記長の森澤様が同書記長を交代されたことにより後任の大上貢一様が新たに委員にご就任されたことをご報告いたします。

2. 会長あいさつ

伊豆原会長	コミュニティバスというのは、もともと地域の皆さんが一体となって自分達の地域をどう作っていくか、お住まいの皆さんの移動、生活をどう確保していくかということを経営の皆さんが主体となって考えていただいて、それを行政がサポートするのが一番いい仕組みだと思います。伊賀市にはコスモス号という前からそういう仕組みを持ったコミュニティバスが運行されています。いい仕組みがあるのだからもっと地域の皆さんと一緒に仕組みを作っていただくように常々お願いしているところです。本日は美旗地域の皆さんにご出席いただいておりますが、こういった仕組みをこれからもどんどんやっていくにはどうしたらいいのか、ということも含めて議論していただけたらと思います。
-------	--

3. 審議事項

美旗地域コミュニティバスの「きじが台」地区への乗り入れについて

(1) 美旗地域コミュニティバス事業計画について

事務局から事業計画概要について説明

美旗地域コミュニティバス運営審議会から補足説明

伊豆原会長	この件についてご意見、ご質問はございませんでしょうか？ 【意見、質疑なし】 名張市の地域公共交通会議で少し検討が残っているとお聞きしていますが、こちらの方ではそれが整い次第ということで、伊賀市の地域公共交通会議としてはご承認、合意していただけるということでよろしいでしょうか。 皆さん全員の合意をいただきまして、この事業計画書についてはご承認いただいたということをお願いしたいと思います。 【全会一致で承認】
-------	--

(2) きじが台地区への乗り入れについて

事務局から概要について説明

きじが台地区住民自治協議会から補足説明

<意見>

伊豆原会長	この件についてご質問、ご意見はございませんでしょうか？
-------	-----------------------------

<p>三重運輸支局 小林氏</p>	<p>地元の方々のご説明をお聞きすると、このバスを走らせることが地域にとって非常に大事であることを強く感じました。バス停が一ヶ所にあるということは高齢者はそこまで出て行かないといけないという不便さがあります。本当に使いやすいかということ。また 1 年間とりあえず走らせてみて状況を見るということですが、せっかく乗り入れて重要課題を今回解消できる機会ですので、乗り入れる際にその地域の方がより使いやすいようにするためにという視点で地域にとってどうなのか、検討いただけるといいと思います。</p>
<p>きじが台地区住民自治協議会 嶋澤氏</p>	<p>我々も 1 年間の試行期間の間にいろいろなデータを集めたいと思っております。地域の住民は大体顔見知りのため分かりますので市民センターの前に停留所をお願いしました。市民センターに職員がおりますので、ここで利用される方を全員きちんとチェックして、抜き取り的に細かな調査をして、その中で要望も当然出てくると思います。そういうものをふまえて本格的な運行時には美旗地域の方をお願いしないといけないと思います。アンケート結果では非常に期待は大きいのですが、実際にどのくらい利用していただけるかはやってみないと分かりません。大概皆さんは証明書等を取りに市民センターまでは来ますので、1 年間の間に利便性について調査をして本格運行に備えて、美旗の審議会の方に配慮いただければと思います。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>皆さんお住まいの所からバス停まで来ていただくことを考えると距離的に 500 メートルとか歩いていただくのはご苦労をかけるのではと思います。バス停まで行かざるを得ないわけですからそのあたりのところを重要ポイントとしてこの 1 年間の試行期間にいろいろご検討していただけたらと思います。地図を見ると一番端から 400～500 メートル離れていますよね。随分昔ですが武蔵野市でムーバスというコミュニティバスを最初に走らせましたが実はバス停間隔が 200 メートルです。なぜ 200 メートルなのか。高齢者の方の行動、移動を調査すると大体一気に歩いてちょっとお休みするのが 100 メートルぐらい。だからバス停間隔を 200 メートルで真ん中から歩いても 100 メートルで休まずに行けるという距離を勘案してバス停間隔 200 メートルというのをセットしてきたとリポートなどにあります。そういうことを考えるとお話しいただいたように今、高齢の方が大変多くなったと、これからもっと高齢化が進むわけです。体力的な衰えもあるわけですから、ぜひ検討いただいて自治会館前のバス停だけではなく、ぐるっと回れるようなルートもご検討いただけたらと</p>

	<p>思います。お聞きすると道幅がなかなかきびしいということですね。</p>
<p>きじが台地区住民自治協議会 嶋澤氏</p>	<p>きじが台にはスクールバスが来ていますが、以前は子供が多い時には大型バスが団地の中に入れなかったのが、市で美旗地区に駐車場を借りていただいていた。もう1ヶ所バス停を設置するとしたらセンターから200メートルくらい東にいったところにかなり広いロータリーがあります。あともう1ヶ所は、「うぐいす台I入口」というバス停がありますが、これは、きじが台地区の西にあたり、歩けば近いということでわざわざ、きじが台のために設けていただいたバス停です。1年間の状況を見てご検討いただければそのロータリーにバス停をと希望はあります。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>ぜひ美旗地域の皆さんとご検討いただければと思います。メインは名張市ですが、伊賀市からもお願いしていただければいい仕組みにしていけたらと思います。</p>
<p>角田副市長</p>	<p>きじが台地区の皆さんは日常の生活圏が名張市ということで、伊賀市としては残念なのですが、地形上やむを得ないと思います。こうしたコミュニティバスを運行していただければ私どもも大変ありがたいと思っておりますが、三重交通路線バスへの影響について、事業者側の三重交通のご見解を伺いたいと思います。</p>
<p>三重交通 岡氏</p>	<p>当初、美旗の運営審議会からお話をいただいた際には、美旗地区に当社の上野名張線が走っており、いい返事はなかなかできませんでした。当然、重複する箇所もありますし、特にうぐいす台、東田原のバス停から利用されているお客様もおりますので影響は出るだろうということで反対もさせていただきました。上野名張線については補助をいただいて運行しておりますので当然収支が下がってくると補助もいただくこともなかなか難しいと。上野名張線については延長の3分の2が伊賀市、3分の1が名張市で運行させていただきますので、もし収支が悪くなった場合、事業者として廃線という考え方もありましたので少し反対はさせていただきました。これが私どもの本音であったのですが、美旗の運行審議会に何回も出席させていただき、その中でいろいろ私どもの意見も聞いていただいて、田原のバス停で乗り継ぎを考えながらということでございます。今、ダイヤを見させていただきましたが、田原の方へ桔梗が丘発ですが、伊賀上野行に連絡していただいておりますし、南古山発については少しダイヤがずれていますのであとでご相談させていただきたいと思っております。上野名張線に乗っていただければ当然お客様も増えますし、決してきじが台にお住まいの方にご迷惑をかけるつもりで反対をしていたわけではな</p>

	<p>く、路線の沿線に近いぐいす台とか田原のお客様がいますのでということで反対をしていたわけで、誤解をしていただきたくないのですが私ども地元の運行事業者としてそういった不便地域から意見が出ていれば何とかしていろんな面でご協力しないといけないということで合意、了承した次第でございます。</p>
伊豆原会長	<p>上野名張線というのは直接名張の中心まで行っているわけですから、たぶん田原と東田原のあたりで乗り継ぎをしていただけるような仕組みもこれから考えなければいけないと思います。全部皆さんが桔梗が丘から乗り継いでいかれるかということというわけではない。競合も確かにそうですが協調といいますか、互いの路線のお客様を奪い合うという感覚ではなくお客様を両方で増やしたり、ご利用しやすいようにしていただくと良いのでは。この路線がなくなるとまた問題が大きくなってしまいます。ですからこの地域の皆さんがどうやってうまく使えるようにしていくかということをご検討いただいて、両方がうまく使えて両方のお客様がが増えていくという仕組みを皆さんもお声かけいただくとよろしいかと思えます。時刻表については接続できるかどうかということについてはこれからまた検討していただいて、なるべく互いの利便性を高くして地域の皆さんに使いやすい仕組みを模索していただければ大変ありがたいと思えます。三重交通さんにもぜひご検討いただきながらお話いただけたらと思えます。</p>
三重県交通政策室 笠谷氏	<p>地域の重要な移動手段として1年間試行しながらさらに充実させていっていただきたいと思えます。三重交通さんと競合するのではなく協調し合いながらうまくつながるように検討していただきたいと思えます。そこで、事務局へ2点質問があります。1点目はきじが台のバス停の名称ですが、経路図では「きじが台自治会館」となっておりますが、資料3・4では「きじが台地区市民センター」となっています。名称はどうされるかを教えていただきたいのと、もう1点は22日に行われた名張市の地域公共交通会議の話がありました。両市を跨ぐバス路線ということでそれに対しての負担金の協議について、伊賀市にも一部負担いただくという話が名張市の公共交通会議であったわけですがそのあたりどのような形で負担するのか、それから1年間試行ということですから試行期間どうされるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>バス停の名称については事務をとっている名張市都市計画室の担当者に問い合わせましたら、まだ仮称ということで、この「きじが台自治会館」も含めて他のバス停名称も正式にはもう少し検討しないといけない部分があるということです。施設の正式名称は「きじが台地区市民センター」であるということも伝えさせて</p>

	<p>いただきました。地元の意向もあるかと思しますのでその辺を調整してどういう名称が相応しいか、こちらも提案させていただきたいと思しますのでご検討いただけると聞いております。</p>
事務局	<p>負担金ですが、名張市については地域が自主的に運行する部分について名張市として補助金の制度を創設されております。その補助金の限度額が確か300万円だったと思っております。当然きじが台への乗り入れについてもきじが台地区住民自治協議会が負担をしていくという話の中で住民自治協議会から市への支援の要望もありました。伊賀市としてはまだ補助制度が創設されていないということ、それと実際に美旗地域コミュニティバスの運行の総事業費がどのくらいかかるのか、これもまだ確定されていないという状況の中で、確定されたら、きじが台地区住民自治協議会への負担金額が示されるであろうと。その負担金額について伊賀市としては住民自治協議会と協議をさせていただきまして負担金という形で支援をさせていただきたいと考えております。</p>
三重県交通政策室 笠谷氏	<p>国への支援制度とかいろいろあると思しますので、そのあたりスムーズにいくようによろしく願いいたします。</p>
伊豆原会長	<p>これは成功していただきたいですね。むしろこういった仕組みを私たちが作っていく。そういう考えでいくことが大切だと思います。法律上の問題もありますが、やはり知恵を絞っていかにかうまい仕組みで運行できるかというあたりを、私たちも地域の皆さん、行政の皆さんにも知恵を絞っていただいていたけるとよいと思しますのでよろしく願いいたします。こういうのは1年やったから良くなったとか、すぐ利用増になるというのではなく、徐々に徐々に少しずつでも改善していく姿勢がいると思しますのでぜひお願いしたいと思っております。</p> <p>この件について他にご意見はございませんでしょうか？</p> <p>【他に意見なし】</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>【全会一致で承認】</p>

4. その他

事務局	<p>この地域公共交通会議の今後の開催についてですが、前回9月6日の会議で少し説明させていただきましたが、現在、市では伊賀市交通計画に定めましたアクションプログラムに基づきまして各交通政策の見直しについて、検討・実施いたしているところです。今後、具体化にあたりまして地域公共交通会議にお諮りする案件が生じてこようかと思われまます。現在、上野コミュニティバ</p>
-----	---

	<p>スしらさぎのルート・ダイヤ等の見直しについて次年度のなるべく早いうちに運行開始ができるよう事業者と調整を行っております。次回の会議ではこの件についてお諮りいたしたいと考えております。その際その他の施策につきましても具体的な動きが見えてまいりましたらご報告いたしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
伊豆原会長	<p>この4月から事業制度が変わりましたので、伊賀市のバスルートがどの事業の補助制度にあたるのか、どういう条件に合うのか、支局の方にどんどんご相談いただいて、伊賀市の予算だけでなく国からの補助もいただけるよう、うまくやればもらえるのかということもあるかと思われまので、ぜひご検討いただいて小林専門官ともご相談していただけたらと思います。今のしらさぎも含めましてお願いしたいと思います。</p>
三重運輸支局 小林氏	<p>私どももぜひ国の制度を使っていただきたい、ご案内したいと思っております。本日ご案内を配らせていただきましたが、美旗地域のコミュニティバスとも関連しますが、地域の方々が参画しながらバスを走らせるといったことが各地域にいくつか出てきています。その運行に至っては本日のご報告の中でもそうでしたが地域の方々の熱意といったものによって時間をかけながら運行されていると認識しております。そういった活動自体を公共交通の中で今後、住民の方々に参画いただいて進めていくことが大事じゃないかなということで、私ども運輸支局と津にあるNPO法人さんと共同で公共交通に対して住民の方々に参画いただくことを基本テーマにした勉強会的なものを開催させていただきます。来月1月28日(土)に参加費無料で住民参画について考える場を設けさせていただきます。その中でいろいろどのようにやっていくかという具体的な話も当然出てきますし、そういうことをすることによって地域の方々のライフスタイルをどういうふうに変えていくのかといったようなことについても、今回学識の先生に来ていただいてお話しいただこうと考えております。具体的にそういうことを進められている地域の方々にも来ていただき、住民の方々とそういった行動について考えていきたいと思いますという場を設けさせていただきますと思っております。できましたら本日お越しの地域の皆さんにもぜひそういった機会を活用していただければとご案内させていただきました。本日ご出席の皆さん以外にも広くお声かけいただいて時間のご都合がつけば参画をいただきたいということでご案内させていただきましたのでよろしくお願いいたします。</p>
伊豆原会長	<p>私、そのNPOの理事長をしておりましていろいろお手伝いで</p>

	きたらと思っておりますのでぜひご参画いただけたらと思います。
--	--------------------------------

5. 閉会